

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
論理国語	普通科・2年	2			

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 精選論理国語（三省堂） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 常用漢字オールクリア 五訂版（尚文出版） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 現代文単語帳（詳細未定）
-------------	--

科目の目標		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能をICTや辞書、補助教材を用いて身に付けるようにする。	協働的かつ対話的な活動をとおして、論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	40%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかた</u>について理解できている。</li> <li>・ <u>筆者の主張とその前提や反証などについて理解</u>できている。</li> <li>・ <u>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること</u>ができている。</li> </ul>	<p>B 評価の規準</p> <p>[思考・判断・表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、<u>主張を支える適切な根拠をそろえる</u>ことができている。</li> <li>・ <u>多面的、多角的な視点から</u>自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、<u>主張を明確に</u>することができている。</li> <li>・ 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが<u>ら要旨を把握</u>することができている。</li> <li>・ 文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、<u>新たな視点から自分の考えを深める</u>ことができている。</li> </ul>	<p>B 評価の規準</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、<u>内容に関して自らの考えをもち伝えよう</u>としている。</li> <li>・ 学習課題に沿って、本文の内容や表現に注意しつつ、粘り強く<u>筆者の主張をとらえよう</u>としている。</li> <li>・ 従来の物事のとらえ方や考え方を改めて見つめ直すことに<u>興味・関心をも</u>とうとしている。</li> </ul>
<p>※ [知識・技能] と [思考・判断・表現] は、定期考査及び単元ごとの小テスト、授業中の課題等で評価します。</p>		
<p>上記の内容について、取組や成果が特に顕著であった場合、A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4 5	評論 納得の構造 渡辺雅子	5	語彙・表現 論の展開（対比） 資料文の比較
5	評論 ミロのヴィーナス 清岡卓行	5	語彙・表現 芸術論について
6	評論 めくみ 鷺田清一	6	語彙・表現 社会学・臨床哲学の視点について
7	評論 ゲノム編集と I P S 細胞 山中伸弥	5	語彙・表現 最先端医療と生命倫理について 意見文を作成する
8 9	評論 世代間倫理としての環境倫理学 加藤尚武	5	語彙・表現 封建的価値観と近代的価値観について 環境論について 意見文を作成する
10 11	評論 「である」ことと「する」こと 丸山真男	8	語彙・表現 封建的価値観と近代的価値観について 具体例を想起しながら読解する
12 1	評論 言葉がつくる女と男 中村桃子	10	語彙・表現 ジェンダー論について 参考資料（小説『こころ』の一部）を踏まえ、ジェンダー観の変遷を捉える
2 3	評論 マルジャーナの知恵 岩井克人	6	語彙・表現 資本主義について 具体例を想起しながら読解する

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
古典探究	普通科・2年・文系	4			

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 精選古典探究（大修館書店） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 古文漢文を一緒に学ぶ 古典の手引き（いいずな書店） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 読んで見て覚える 重要古文単語315（桐原書店） <input type="checkbox"/> 傍用問題集 問題演習用（詳細未定）
-------------	---

科目の目標		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	40%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> <b>[知識・技能]</b> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解できている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解できている。	<b>B 評価の規準</b> <b>[思考・判断・表現]</b> ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価できる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。	<b>B 評価の規準</b> <b>[主体的に学習に取り組む態度]</b> ・語句の意味を主体的に調べ、自らの語彙を増やそうとしている。 ・作品や作者について、時代背景も踏まえたうえで、粘り強く考察しようとしている。 ・学習課題について粘り強く取り組もうとしている。  ※以下の事柄を評価対象とする。 ・言語活動 ・提出物(提出状況及び取組内容)
※定期考査および単元別テストおよび古文単語小テスト 「思考・判断・表現」分野は言語活動も評価対象とする		
上記の内容について、取組や成果が特に顕著であった場合、A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	説話『十訓抄』「大江山」	5	語句・修辞
			和歌の解釈
			登場人物の心情を理解する
5	故事「知音」 「漱石枕流」	4	語句・修辞
			登場人物の心情を理解する

6	歌物語『伊勢物語』「月やあらぬ」 「つひにゆく道」	5	語句・修辞 和歌の解釈
7	漢詩「竹里館」、「早發白帝城」、 「登岳陽樓」、「勸酒」	5	語句・修辞 漢詩の解釈 漢詩の基礎事項（形式・押韻等）の理解
8 9	作り物語『源氏物語』 「光源氏誕生」「若紫との出会い」	12	語句・修辞 作品成立の背景の理解 登場人物の心情の理解 古典常識の理解
10 11	史伝『史記』 「荊軻」「鴻門之会」	14	語句・修辞 漢文句法 主題の理解
12	歴史物語『大鏡』 「道真左遷」「競べ弓」	10	語句・修辞 登場人物の心情の理解 古典常識の理解
1	思想「不忍人之心」、「人之性悪」、 「大道廢、有仁義」	6	語句・修辞 漢文句法 各思想の特徴の理解
2 3	小説『人虎伝』 小説『山月記』	8	語句・修辞 作品の関連性 登場人物の心情の理解

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
古典探究	普通科・2年・理系	2			

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 精選古典探究（大修館書店） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 古文漢文を一緒に学ぶ 古典の手引き（いいずな書店） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 読んで見て覚える 重要古文単語315（桐原書店）
-------------	---

科目の目標		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	40%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> <b>[知識・技能]</b> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解できている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解できている。	<b>B 評価の規準</b> <b>[思考・判断・表現]</b> ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価できる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。	<b>B 評価の規準</b> <b>[主体的に学習に取り組む態度]</b> ・語句の意味を主体的に調べ、自らの語彙を増やそうとしている。 ・作品や作者について、時代背景も踏まえたうえで、粘り強く考察しようとしている。 ・学習課題について粘り強く取り組もうとしている。  ※以下の事柄を評価対象とする。 ・言語活動 ・提出物(提出状況及び取組内容)
※定期考査および単元別テストおよび古文単語小テスト 「思考・判断・表現」分野は言語活動も評価対象とする		
上記の内容について、取組や成果が特に顕著であった場合、A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	説話『十訓抄』「大江山」	4	語句・修辞
			和歌の解釈
			登場人物の心情を理解する
5	故事「知音」	3	語句・修辞
			登場人物の心情を理解する

6	歌物語『伊勢物語』「月やあらぬ」	4	語句・修辞 和歌の解釈
7	漢詩「竹里館」、「早發白帝城」、 「登岳陽樓」	4	語句・修辞 漢詩の解釈 漢詩の基礎事項（形式・押韻等）の理解
8 9	作り物語『源氏物語』 「若紫との出会い」	7	語句・修辞 作品成立の背景の理解 登場人物の心情の理解 古典常識の理解
10 11	史伝『史記』「鴻門之会」	8	語句・修辞 漢文句法 主題の理解
12	歴史物語『大鏡』「競べ弓」	5	語句・修辞 登場人物の心情の理解 古典常識の理解
1	思想「不忍人之心」、「人之性悪」、 「大道廢、有仁義」	5	語句・修辞 漢文句法 各思想の特徴の理解
2 3	小説『人虎伝』 小説『山月記』	5	語句・修辞 作品の関連性 登場人物の心情の理解

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
地理探究	普通科・2年	2			

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 新詳地理探究（帝国書院） <input type="checkbox"/> 地図帳 基本地図帳（二宮書店） <input type="checkbox"/> 資料集 最新地理図表GEO（第一学習社） <input type="checkbox"/> 問題集 サクシード地理（啓隆社）
-------------	---

科目の目標		
<p>地理総合の学習で身につけた社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを地誌的に理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力を養う。また、現代世界の諸課題を地球的視野で捉え、その対策や持続的な社会の在り方について構想する力や、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論する力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通してかん養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深めようとする。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	40%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった、できた] ・世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するために、教師の説明や自分で理解したことを余白やノートにまとめている。	<b>B 評価の規準</b> [根拠をもって説明・表現できた] ・各単元の概念を踏まえて自然環境と人間生活との結びつきを主題図やグラフ、景観写真を基に、問に対して自分の考えをまとめることができる。 ・学習したことを基に課題解決に向けて考察し、友人同士で説明し合う中で自分事として捉え、新たな視点を獲得できている。	<b>B 評価の規準</b> [粘り強さ、学びに向かう調整力] ・授業プリントの考察場面で自分なりの理由や解決策を導こうとしている。 ・解決策を導くにあたって必要な資料や情報は何か、まとめ方はどうしたらよいか考え、工夫している。 ・単元テスト前や定期考査前に授業プリントを活用して学習した形跡が見られる。また、学習の振り返りから資料や情報の最適な活用方法を考え、問いの答えを導こうとしている。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、単元テスト、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	世界の地形環境	2	・地形をつくる力 ・プレートの運動とさまざまな境界
	世界の地形環境	4	・変動帯の地形 ・安定地域の地形
5	世界の地形環境	2	・河川がつくる地形 ・海岸と海にみられる地形
	世界の地形環境	4	・氷河地形 ・砂漠地形 ・カルスト地形 ・気候や地質の影響が強い地形 ・地震と津波
6	気候と自然環境	6	・世界の植生

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候の見方</li> <li>・大気大循環と気候</li> </ul>
	気候と自然環境	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋と陸水</li> </ul>
7	気候と人々の生活	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケッペンの気候区分</li> <li>・熱帯の特徴と人々の生活</li> <li>・乾燥帯の特徴と人々の生活</li> <li>・温帯の特徴と人々の生活(1)(2)</li> <li>・亜寒帯(冷帯)・寒帯の特徴と人々の生活</li> </ul>
	気候と人々の生活	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山気候の特徴と人々の生活</li> <li>・異常気象と気候変化</li> </ul>
8	日本の自然環境と自然災害	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の地形と自然災害</li> <li>・日本の気候と自然災害</li> <li>・自然災害と防災・減災の取り組み</li> </ul>
9	世界の環境問題	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球規模の環境問題</li> <li>・地球温暖化の背景と影響</li> <li>・オゾンホール、大気汚染の背景と影響</li> <li>・森林破壊の背景と地域性</li> <li>・日本の環境問題</li> </ul>
	産業の発展と社会的分業	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業の変遷</li> <li>・産業構造と地域構造</li> </ul>
10	農林水産業	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の立地と形態</li> <li>・世界のさまざまな農業地域</li> <li>・グローバル化と農業地域の変容</li> <li>・拡大する世界の農産物流通</li> <li>・世界の林業・水産業</li> <li>・日本の農林水産業</li> </ul>
11	食糧問題	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食糧問題の背景と地域性</li> <li>・食糧問題の解決に向けて</li> <li>・日本の食糧問題</li> </ul>
	エネルギーと鉱産資源	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界のエネルギー需要</li> <li>・化石燃料</li> <li>・電力生産</li> <li>・金属資源</li> </ul>
	資源・エネルギー問題	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化石燃料への依存と国家間の対立</li> <li>・化石燃料から再生可能エネルギーへ</li> <li>・日本の資源・エネルギー問題</li> </ul>
12	工業の立地と工業地域の変容	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業の立地と工業地域</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・繊維・鉄鋼・石油化学</li> <li>・自動車・エレクトロニクス</li> <li>・新しい技術と工業</li> <li>・グローバル化と工業地域の再編</li> <li>・工業の知識集約化</li> <li>・日本の工業とその変容</li> </ul>
1	第三次産業	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス経済化の進展と流通産業の発達</li> <li>・情報通信業とその集積</li> <li>・医療・福祉産業の課題</li> </ul>
	交通・通信	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の発達(1)(2)(3)</li> <li>・情報通信技術の発達</li> </ul>
2	貿易と経済連携	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貿易の自由化と経済連携</li> <li>・現代貿易の課題</li> </ul>
	観光	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光の発達と地理的展開</li> <li>・様々な観光</li> </ul>
3	世界の人口	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の人口分布と人口増加</li> <li>・人口動態と人口ピラミッド</li> <li>・人口移動の変遷と今日の姿</li> </ul>
	人口問題	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発展途上国の人口問題</li> <li>・先進国の人口問題</li> </ul>

※続きは3年次地理探究で実施。

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
日本史探究	普通科・探究科2年	2			

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 日本史探究（実教出版） <input type="checkbox"/> 資料集 最新日本史図表2026（第一学習社） <input type="checkbox"/> ノート 日本史探究マイノート（実教出版）
-------------	--

科目の目標		
<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や太奥の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・できた] ・【まとめ (Try)】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿って答えられている。 ・説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、 <u>適切にメモとして残している</u> 。	<b>B 評価の規準</b> [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・【はじめの問い】や【作業 (Point)】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考えを記述できている</u> 。 ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、 <u>仲間のサイン</u> を受けている。	<b>B 評価の規準</b> [粘り強さ] ・学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、提案や発表ができる。 [自分なりの工夫] ・ノートについて、 <u>教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりする</u> など、独自の記述が3か所以上ある。マーカーやアンダーラインも工夫している。  ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	日本文化のあけぼの ～旧石器時代→縄文時代→弥生時代	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本列島最古の文化</li> <li>・縄文時代の社会と文化</li> <li>・弥生時代の社会と文化</li> </ul>
5	ヤマト政権の成立と古墳文化 ～古墳時代	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小国の分立と邪馬台国</li> <li>・古墳の出現とヤマト政権の成立</li> <li>・ヤマト政権の展開と統一の進展</li> <li>・古墳時代の生活と文化</li> </ul>
6	律令国家の形成 ～飛鳥時代→「白鳳時代」→奈良時代	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代国家の形成</li> <li>・飛鳥文化・白鳳文化</li> <li>・律令制度</li> </ul>
7		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良時代の政治</li> <li>・天平文化</li> </ul>
8	古代国家・社会の変容 ～平安時代（初期及び中期）	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・律令体制再編期の政治と社会</li> <li>・摂関政治の成立と支配体制の転換</li> </ul>

			・国風文化
9	荘園公領制の成立と院政 ～平安時代（末期）	5	・荘園公領制の形成 ・院政の成立～院政期の社会 ・平氏の成長～平氏政権 ・院政期の文化
10	中世の国家・社会の展開 ～鎌倉時代	6	・鎌倉幕府の成立と朝廷 ・中世に生きる人々 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化
11	中世の国家・社会の変容 ～室町時代	7	・南北朝の動乱 ・室町幕府の政治と外交 ・室町社会の展開と応仁の乱
12		4	・室町文化 ・戦国大名の分国経営
1 2	東アジア世界の変容と天下統一 ～織豊時代	5	・織豊政権 ・天下統一の完成 ・近世成立期の文化
3	1年間の振り返り		

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
世界史探究	普通科2年	2			

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 世界史探究（実教出版） <input type="checkbox"/> 資料集 最新世界史図説 タペストリー 二十四訂版（帝国書院） <input type="checkbox"/> ノート 世界史探究マイノート（実教出版） <input type="checkbox"/> 問題集 2027 実戦攻略 歴史総合, 世界史探究 大学入学共通テスト問題集（実教出版）
-------------	---

科目の目標		
<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、ICTを活用しつつ諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、協働的な学びを通して歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>[知識]</b>  <b>B 歴史的事象に関する用語を知っている。</b>                      ・重要語句や重要事項を答えたり、その内容を説明したりすることができる。  <b>A 歴史的事象を概念として理解することができる。</b>                      ・習ったことを一般化できる形に抽象化して整理したり説明することができる。</p> <hr/> <p><b>[技能]</b>  <b>B 提示された資料から必要な情報を読み取ることができる。</b>                      ・提示された年表や地図その他の図表、史料などの資料から、必要な情報を読み取ることができる。  <b>A 適切な資料を選び、必要な情報を読み取ることができる。</b>                      ・年表や地図その他の図表、史料などから、適切な資料を選び、必要な情報を読み取ることができる。</p>	<p><b>[思考]</b>  <b>B 習った歴史的事象を他の事柄にあてはめることができる。</b>                      ・抽象化した既習事項と別の歴史的事象との構造的な共通点を見出すことができる。  <b>A もとの事柄とあてはめた事柄とを比べることができる。</b>                      ・複数の事柄を、共通する構造で捉えて、さらなる共通点を推測したり時代や地域を含む様々な条件に起因する相違点などを挙げたりして整理することができる。</p> <hr/> <p><b>[判断]</b>  <b>B 歴史的事象に関する判断基準を把握できている。</b>                      ・その事柄に関する課題は何か、その課題に対して誰がどのような考え方を持っているかについて整理することができる。  <b>A 歴史的事象について価値判断を行うことができる。</b>                      ・実際起きた出来事等が、誰にとってどのような意味があったのか、それぞれの立場から説明できる。</p> <hr/> <p><b>[表現]</b>  <b>B 歴史的事象について自分の考えを述べることができる。</b>                      ・習った内容を比較したり価値判断を行ったりしたことをもとにして自分の考えを述べることができる。  <b>A 歴史的事象についての自分の考えを、適切な方法で表すことができる。</b>                      ・文章や年表、地図その他の図表などを用いて、他者に効果的に伝えることができる。</p>	<p><b>[自己調整学習・粘り強い取り組み（学習方法）]</b>  <b>B 学習の振り返りを行うことができる。</b>                      ・自らの学び方を振り返り、改善しようとすることができる。  <b>A 振り返りをもとに、学び方を継続的に改善することができる。</b>                      ・自らの学び方を振り返り継続的に改善することができ、その成果が、「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点の成績にも表れている。</p> <hr/> <p><b>[自己調整学習・粘り強い取り組み（学習の深まり）]</b>  <b>B 自分で問いを立てることができる。</b>                      ・疑問に感じた点やさらに深めたい部分などを自分で見つけ、問いを立てることができる。  <b>A 自分とのつながりや現代の諸問題を意識した問いを立てることができる。</b>                      ・歴史的事象と自分や現代の諸問題とのつながりに興味を向けることができ、それらを深めるための問いを立てることができる。</p>

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	古代文明	4	・オリエント文明 ・インダス文明
5	東アジアと中央ユーラシア	6	・中国文明 ・春秋・戦国時代の変動 ・中国古代帝国と東アジア
6	南アジアと東南アジア 西アジアと地中海周辺	10	・中央ユーラシアの国家形成 ・胡漢融合帝国の誕生 ・インド古典文化の形成 ・古代の東南アジアと海のシルクロード ・オリエントの統一
7		3	・ギリシア文明 ・ヘレニズム時代 ・ローマ帝国
8	西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパの形成	6	・西アジアの国々と諸宗教 ・ビザンツ帝国とギリシア正教圏 ・ラテン=カトリック圏の拡大
9	中央ユーラシアと諸地域の交流・再編	5	・ラテン=カトリック圏の動揺と秩序の変容 ・中央ユーラシア諸民族と東アジアの変容 ・モンゴル帝国の成立
10	大交易時代	6	・東南アジア諸国の再編 ・海域世界の展開と大交易圏の成立 ・明と東アジア
11	アジア諸地域の帝国	7	・ヨーロッパの海外進出 ・大交易時代の海域アジア ・中央ユーラシアと西アジアの帝国 ・南アジアの帝国
12		4	・東南アジア諸国の発展 ・清と東アジア
1 2	近世ヨーロッパの形成と展開	5	・ルネサンスと宗教改革 ・主権国家体制の成立 ・激化する覇権競争
3		2	・近世ヨーロッパの社会と文化
R9 4	産業革命と大西洋革命	4	・イギリスの産業革命 ・南北アメリカの革命

5	近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フランス革命とナポレオン帝政</li> <li>・ウィーン体制と 1848 年の革命</li> <li>・ 19 世紀後半のヨーロッパとアメリカ</li> </ul>
6	地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 19 世紀のヨーロッパ・アメリカの社会と文化</li> <li>・ヨーロッパの帝国主義</li> <li>・アメリカの帝国主義</li> <li>・西アジアの改革運動</li> <li>・アフリカの分割と抵抗</li> </ul>
7		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インドの植民地化と民族運動</li> <li>・東南アジアの植民地化と民族運動</li> </ul>
8	第一次世界大戦と諸地域の変容	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジアの国際関係の再編</li> <li>・第一次世界大戦</li> <li>・ヴェルサイユ体制と国際協調</li> </ul>
9	第二次世界大戦と戦後の国際秩序	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアのナショナリズムの台頭</li> <li>・世界恐慌とファシズム</li> <li>・満州事変と日中戦争</li> </ul>
10	冷戦と現代世界	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次世界大戦</li> <li>・戦後の変革と冷戦のはじまり</li> <li>・冷戦下の安全保障体制</li> </ul>
11	世界経済の展開	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱植民地化と非同盟</li> <li>・冷戦の終結と現代世界</li> <li>・冷戦と経済統合</li> <li>・第三世界の経済</li> </ul>
12		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業構造と社会の変化</li> <li>・グローバル化と新自由主義の時代</li> </ul>
1 2 3	科学技術の時代と知識基盤社会	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界史のなかの感染症</li> </ul>

## 令和 8 年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
公共	全学科・2年	2		○	

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 高等学校 改訂版 新公共（第一学習社） <input type="checkbox"/> 資料集 最新公共資料集（第一学習社） <input type="checkbox"/> 演習ノート 改訂版 新公共ノート（第一学習社）
-------------	---

科目の目標		
<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>現代の諸課題をとらえ考察し、洗濯・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、書士料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p>	<p>現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p>	<p>よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B評価の規準</b> [わかった・できた] ・まとめや課題に自ら取り組み、学習内容を理解している。 ・資料の読み取りができており、説明の補足等を適切にメモに残している。	<b>B評価の規準</b> [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・まとめや課題に自ら取り組み、自分の考えを整理できている。 ・級友と協力して取り組み、自分の考えを述べ、班員の考えを記述できている。	<b>B評価の規準</b> [自己評価] ・取り組み態度を振り返り、おおむね良好な自己評価ができている。 [粘り強さ] ・学習活動に真剣に取り組む、級友と協力し提案や発表ができる。 [自分なりの工夫] ・教師の説明をメモし、自分なりのまとめ方をしている。マーカーやアンダーライン等も工夫している。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断する。		※居眠りや過度な私語等で周囲に迷惑をかける場合はC評価となる。
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とする。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち	5	①社会に生きる私たち ②個人の尊厳と自主・自律 ③多様性と共通性 ④伝統文化とのかかわり ⑤自立した主体をめざして
	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	1	①人間と社会のあり方についての見方・考え方
5	第3章 公共的な空間における基本的原理	4	①人間の尊厳と平等、個人の尊重 ②民主主義と法の支配
	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割		6
6			③自由に生きる権利と法・規範 ④平等に生きる権利と法・規範 ⑤安全で豊かに生きる権利と法・規範

	主題2 契約と消費者の権利・責任	2	⑥法をよりよいものにするための権利 ①さまざまな契約と法 ②消費者の権利と責任
	主題3 司法参加の意義	2	①裁判所と司法
7	第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論の形成	6	②国民の司法参加 ①私たちと選挙 ②選挙の現状と課題 ③世論の形成と政治参加 ④国会と立法 ⑤内閣と行政
8			⑥地方自治と住民福祉
9	主題5 国際社会と国家主権  主題6 日本の安全保障と防衛	3  3	①国家と国際法 ②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題 ①平和主義と安全保障 ②日本の安全保障体制の変容 ③核兵器の廃絶と国際平和
10	主題7 国際社会の変化と日本の役割 第3章 経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題	3  3	①今日の国際社会 ②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割 ①私たちと経済 ②労働者と権利 ③労働環境と課題
11	主題9 社会の変化と職業観  主題10 市場経済の機能と限界	5  5	①日本経済のこれまでとこれから ②技術革新の進展 ③現代の企業 ④中小企業の現状と役割 ⑤日本の農林水産業 ①市場経済と経済運営 ②市場のしくみ
12	主題11 金融のはたらき  主題12 財政の役割と社会保障	2  4	③経済発展と環境保全 ④国民所得と私たちの生活 ⑤経済成長と国民の福祉 ①金融の意義と役割 ②金融のいま ①財政のしくみと租税
1	主題13 経済のグローバル化	9	②日本の財政の課題 ③社会保障と国民福祉 ④これからの社会保障 ①国際分業と貿易

			<ul style="list-style-type: none"> <li>②国際収支と国際経済体制</li> <li>③外国為替相場の動き</li> </ul>
2			<ul style="list-style-type: none"> <li>④グローバル化する経済</li> <li>⑤地域的経済統合</li> <li>⑥国際社会における貧困や格差</li> <li>⑦地球環境問題</li> <li>⑧資源・エネルギー問題</li> <li>⑨国際社会のこれから</li> </ul>
3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>①排出量取引を考える～地球環境問題</li> <li>②ベストミックスを考える～資源・エネルギー問題</li> <li>③ゲノム編集を考える～生命倫理</li> <li>④インターネットによる投票を考える～情報</li> <li>⑤フェアトレードを考える～国際社会の課題</li> </ul>

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
数学Ⅱ 数学B 数学C	普通科・2年	数学Ⅱ：2 数学B：1 数学C：1			

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 新編 数学Ⅱ, 新編 数学B, 新編 数学C <input type="checkbox"/> 問題集 Study-Up ノート数学Ⅱ+B+C チャート式 解法と演習数学 数学Ⅱ+B+C (ベクトル)
------	---

科目の目標		
○以下の分野について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。 数学Ⅱ… <u>式と証明</u> ， <u>複素数と方程式</u> ， <u>図形と方程式</u> ， <u>三角関数</u> ， <u>指数関数と対数関数</u> 数学B… <u>数列</u> 数学B… <u>ベクトル</u>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各分野についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	以下の力を養う。 ・数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力。 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力。 ・関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力。 ・離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力。 ・大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○観点別目標の達成や取組の状況において</p> <p>「十分満足できる」状況と判断される場合「A」（点数での目安：7割以上）</p> <p>「おおむね満足できる」状況と判断される場合「B」（点数での目安：3割以上7割未満）</p> <p>「努力を要する」状況と判断される場合「C」（点数での目安：3割未満）</p> <p>と評価する。</p>		
<p>○知識・技能の評価問題（主に計算問題）を理解している。</p> <p>[到達度チェックテスト]</p> <p>[定期考査]</p> <p>[授業時の解答状況等]</p>	<p>○思考力・判断力・表現力の評価問題（主に応用記述問題）を理解している。</p> <p>[到達度チェックテスト]</p> <p>[定期考査]</p> <p>[授業時の解答状況等]</p>	<p>○授業に臨む態度等（日々の授業時）</p> <p>○課題（宿題）等の取組・提出状況（プリント・ノート等）</p> <p>○努力度・理解度の自己評価（到達度チェックテスト）</p> <p>※「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえ<u>たうえで評価する</u>。（例：CCA という評価はほぼありえない。）</p>
<p>定期考査の点数だけでなく、<u>日々の授業の取り組み</u>を評価します。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	<p>【数学Ⅱ】</p> <p>第1章 式と証明</p> <p>第1節 式と計算</p>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3次式の展開と因数分解</li> <li>・二項定理</li> <li>・多項式の割り算</li> <li>・分数式とその計算</li> <li>・恒等式</li> </ul> <p>○到達度チェックテスト</p>
5	第2節 等式・不等式の証明	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・等式の証明</li> <li>・不等式の証明</li> </ul> <p>○到達度チェックテスト</p>
	<p>第2章 複素数と方程式</p> <p>第1節 複素数と2次方程式の解</p>	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複素数とその計算</li> </ul>

	第2節 高次方程式		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次方程式の解</li> <li>・ 解と係数の関数</li> <li>○到達度チェックテスト</li> <li>・ 剰余の定理と因数分解</li> <li>・ 高次方程式</li> <li>○到達度チェックテスト</li> </ul>
6	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線  第2節 円	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直線上の点</li> <li>・ 平面上の点</li> <li>・ 直線の方程式</li> <li>・ 2直線の関係</li> <li>○到達度チェックテスト</li> <li>・ 円の方程式</li> <li>・ 円と直線</li> <li>・ 2つの円</li> <li>○到達度チェックテスト</li> </ul>
● 1学期期末考査			
7	第3節 軌跡と領域	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軌跡と方程式</li> <li>・ 不等式の表す領域</li> <li>○到達度チェックテスト</li> </ul>
8	第4章 三角関数 第1節 三角関数	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 角の拡張</li> <li>・ 三角関数</li> </ul>
9	第2節 加法定理	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三角関数のグラフ</li> <li>・ 三角関数の性質</li> <li>・ 三角関数を含む方程式, 不等式</li> <li>○到達度チェックテスト</li> <li>・ 加法定理</li> </ul>
10		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加法定理の応用</li> <li>○到達度チェックテスト</li> </ul>
● 2学期中間考査			
	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指数の拡張</li> <li>・ 指数関数</li> <li>○到達度チェックテスト</li> </ul>
11	第2節 対数関数	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対数とその性質</li> <li>・ 対数関数</li> <li>・ 常用対数</li> <li>○到達度チェックテスト</li> </ul>

	<b>【数学B】</b> 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数列と一般項</li> <li>・等差数列</li> <li>・等差数列の和</li> <li>・等比数列</li> <li>・等比数列の和</li> </ul> ○到達度チェックテスト
● 2学期期末考査			
12	第2節 いろいろな数列	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和の記号<math>\Sigma</math></li> <li>・階差数列</li> <li>・いろいろな数列の和</li> </ul> ○到達度チェックテスト
1	第3節 漸化式と数学的帰納法	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漸化式</li> <li>・数学的帰納法</li> </ul> ○到達度チェックテスト
	<b>【数学C】</b> 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベクトル</li> <li>・ベクトルの演算</li> <li>・ベクトルの成分</li> <li>・ベクトルの内積</li> </ul> ○到達度チェックテスト
● 3学期学年末考査			
2	第2節 ベクトルと平面図形	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・位置ベクトル</li> <li>・ベクトルの図形への応用</li> <li>・図形のベクトルによる表示</li> </ul> ○到達度チェックテスト
3	第2章 空間のベクトル	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間の点</li> <li>・空間のベクトル</li> <li>・ベクトルの成分</li> <li>・ベクトルの内積</li> <li>・ベクトルの図形への応用</li> <li>・座標空間における図形</li> </ul> ○到達度チェックテスト

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
物理	普通科・2年生 理系	2			

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 物理（数研出版） <input type="checkbox"/> 物理研究ノート（博洋社）
-------------	--

科目の目標		
物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物理的の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	物理的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・できた] ・教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりするなど、適切にメモに残している。 ・学習活動に真剣に取り組む、確認テスト等で振り返ることができている。	<b>B 評価の規準</b> [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・学習や観察及び実験に仲間と協力して取り組み、自らの考えを記述している。 ・学習内容や観察及び実験の方法を正しく理解し、結果をまとめることができる。	<b>B 評価の規準</b> [粘り強さ] ・学習課題に自ら取り組み、仲間と協力して考え、結果をまとめることができる。教師のスタンプがある。 [自分なりの工夫] ・教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりするなど、独自の記述が3か所以上ある。マーカーやアンダーラインも工夫している。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	第1章 平面内の運動	2 3	①平面運動の速度・加速度 ②物体の運動
5	第2章 剛体	2 4	①剛体にはたらく力のつりあい ②剛体にはたらく力の合力と重心
6	第3章 運動量の保存	2 3 4	①運動量と力積 ②運動量保存則 ③反発係数
7	第4章 円運動と万有引力	3 3 5	①等速円運動 ②慣性力 ③単振動
9	第1章 気体のエネルギーと状態変化	4 2 3	④万有引力 ①気体の法則 ②気体分子の運動
10	第1章 波	5 2 2	③気体の状態変化 ①波と媒質の運動 ②正弦波の式

11	第2章	4	3	波の伝わり方
		2	1	音の伝わり方
		3	2	音のドップラー効果
12	第3章	3	1	光の性質
		4	2	レンズと鏡
1	第1章 電場	4	3	光の干渉と回折
		2	1	静電気力
		2	2	電場
2		4	3	電位
		1	4	物質と電場
3		6	5	コンデンサー

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
化学基礎	普通科・2年生 文系	2		○	

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 化学基礎（数研出版） <input type="checkbox"/> フォローアップドリル化学基礎①（物質の構成と化学結合）（数研出版） <input type="checkbox"/> フォローアップドリル化学基礎②（物質質量・化学反応式）（数研出版） <input type="checkbox"/> フォローアップドリル化学基礎③（酸・塩基/酸化・還元/電池・電気分解）（数研出版）
-------------	---

科目の目標		
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成すること。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての観察、実験などを行うことを通して、物質とその変化に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けさせる	物質とその変化を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得させるとともに、報告書を作成させたり発表させたりして、科学的に探究する力を育てる。	物質とその変化に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・できた] ・【まとめと練習】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 ・授業プリントなど説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、 <u>適切にメモに残している</u> 。	<b>B 評価の規準</b> [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・【探究の問い】や【作業】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考えを記述できている</u> 。 ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、 <u>仲間のサイン</u> を受けている。	<b>B 評価の規準</b> [観察・実験] 様々な探究の過程を通して科学の方法を学び、化学的に探究する能力と態度を育てようとするものであり、化学に対する興味や関心も、しっかりとした目的意識をもって行う観察、実験によって一層高めることができる。 [自分なりの工夫] ・授業プリントに教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりする。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	1章 物質の構成	1	物質の分類と性質
		4	物質と元素
5	1章 物質の構成	4	物質と元素
		2	物質の三態と熱運動
6	1章 物質の構成	4	原子の構造
		3	イオンの生成
		2	元素の周期表
7	2章 物質と化学結合	4	イオン結合とイオン結晶
		4	イオン結合からなる物質
8			
9	2章 物質と化学結合	4	共有結合と分子
		4	分子間力と分子結晶
10	2章 物質と化学結合	4	共有結合からなる物質

		4	金属結合と金属結晶
		4	金属
11	3章 物質の変化	4	原子量と分子量・式量
		4	物質質量
		5	溶液の濃度
		4	化学反応式
12	3章 物質の変化	5	酸と塩基
		5	酸と塩基の分類
		5	水素イオン濃度とpH
1	3章 物質の変化	5	中和と塩
		5	酸化と還元
2	3章 物質の変化	7	酸化剤と還元剤
3	3章 物質の変化	8	科学技術と化学

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
化学基礎	普通科・2年生 理系	2		○	

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 化学基礎（数研出版） <input type="checkbox"/> フォローアップドリル化学基礎①（物質の構成と化学結合）（数研出版） <input type="checkbox"/> フォローアップドリル化学基礎②（物質質量・化学反応式）（数研出版） <input type="checkbox"/> フォローアップドリル化学基礎③（酸・塩基/酸化・還元/電池・電気分解）（数研出版）
-------------	---

科目の目標		
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成すること。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての観察、実験などを行うことを通して、物質とその変化に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けさせる	物質とその変化を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得させるとともに、報告書を作成させたり発表させたりして、科学的に探究する力を育てる。	物質とその変化に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・できた] ・【まとめと練習】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 ・授業プリントなど説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、 <u>適切にメモに残している</u> 。	<b>B 評価の規準</b> [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・【探究の問い】や【作業】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考えを記述できている</u> 。 ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、 <u>仲間のサイン</u> を受けている。	<b>B 評価の規準</b> [観察・実験] 様々な探究の過程を通して科学の方法を学び、化学的に探究する能力と態度を育てようとするものであり、化学に対する興味や関心も、しっかりとした目的意識をもって行う観察、実験によって一層高めることができる。 [自分なりの工夫] ・授業プリントに教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりする。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	1章 物質の構成	1	物質の分類と性質
		4	物質と元素
5	1章 物質の構成	2	物質の三態と熱運動
		4	原子の構造
6	1章 物質の構成	3	イオンの生成
		2	元素の周期表
		4	イオン結合とイオン結晶・イオン結合からなる物質
7	2章 物質と化学結合	4	共有結合と分子
		4	分子間力と分子結晶
8			
9	2章 物質と化学結合	4	共有結合からなる物質
		4	金属結合と金属結晶・金属

10	3章 物質の変化	4	原子量と分子量・式量
		4	物質質量
		5	溶液の濃度・化学反応式
11	3章 物質の変化	5	酸と塩基
		5	水素イオン濃度とpH
		5	中和と塩
12	3章 物質の変化	5	酸化と還元
		7	酸化剤と還元剤

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
化学	普通科・2年生 理系	1			

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 化学（数研出版） <input type="checkbox"/> フォローアップドリル化学①（物質の状態）（数研出版） <input type="checkbox"/> フォローアップドリル化学②（熱化学・反応速度・化学平衡）（数研出版）
-------------	---

科目の目標		
「化学基礎」までの学習を踏まえて、化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
化学的な事物・現象についての観察、実験などを行うことを通して、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けさせる	化学的な事物・現象を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得させるとともに、報告書を作成させたり発表させたりして、科学的に探究する力を育てる。	化学的な事物・現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>B 評価の規準</b>            [わかった・できた]            ・【まとめと練習】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。            ・授業プリントなど説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、<u>適切にメモに残している。</u></p>	<p><b>B 評価の規準</b>            [よく考え、意見を持ち、説明できた]            ・【探究の問い】や【作業】で仲間と協力して取り組み、<u>自分や班の考えを記述できている。</u>            ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、<u>仲間のサイン</u>を受けている。</p>	<p><b>B 評価の規準</b>            [観察・実験]            様々な探究の過程を通して科学の方法を学び、化学的に探究する能力と態度を育てようとするものであり、化学に対する興味や関心も、しっかりとした目的意識をもって行う <b>観察、実験</b>によって一層高めることができる。            [自分なりの工夫]            ・授業プリントに教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりする。            ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。</p>
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
1	気体の性質		気体
			気体の状態方程式
2	溶液の性質		溶解
			希薄溶液の性質
			コロイド
	固体の構造		金属の結晶構造
			イオン結晶の構造
			分子結晶と共有結合の結晶
3	化学反応と熱・光		反応とエンタルピー変化
			ヘスの法則
			光とエネルギー
	化学反応の速さ		反応の速さ
			反応速度を変える条件

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
生物	普通科2年（理系・生物選択者）	2			

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 高等学校生物（啓林館） <input type="checkbox"/> 問題集 センサー総合生物 生物基礎・生物（啓林館） <input type="checkbox"/> 資料集 改訂版 フォトサイエンス 生物図録（数研出版）
-------------	--

科目の目標		
生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を計りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法を習得するとともに、報告書を作成させたり発表させたりして、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養うことが重要である。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・できた] ・学習活動に真剣に取り組む、確認テスト等で振り返ることができている。 ・観察及び実験の方法を正しく理解し、結果をまとめることができる。	<b>B 評価の規準</b> [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・学習内容に対し、仮説を立て、既習事項や実験結果等と関連付けて考察することができる。 ・専門用語を的確に使用し、順序良く端的に説明することができる。	<b>B 評価の規準</b> [粘り強さ] ・学習課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 [自分なりの工夫] ・授業プリントに補足をメモしたり、自分なりのまとめをしたりするなど、独自の工夫及び記述がある。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	生物の進化 有性生殖と遺伝的多様性	2 2 3	生命の起源と生命の変遷 生物界の変遷と地球環境の変化 有性生殖
5	進化のしくみ	4 3 4	遺伝子の多様な組み合わせ 突然変異と進化 進化の要因
6	生物の系統 生命現象と物質	2 4 1 5	生物の分類と系統 3ドメイン説 人類の起源と進化 物質と細胞
7		8	生命現象とタンパク質
8	代謝	1	代謝とエネルギー
9	遺伝現象と物質	4 4 2	呼吸 光合成 遺伝情報の複製
10		3	遺伝子の発現

	発生と遺伝子の発現	4 2 6	遺伝子の発現調節 動物の配偶子形成と受精 初期発生の過程
11	バイオテクノロジー	5 6	発生と遺伝子の発現 遺伝子を扱った技術
12	刺激の受容と反応	3 3	刺激の受容 神経
1	動物の行動	2 3 2 2	神経系 効果器 生得的行動 学習
2	植物の環境応答	4 8	植物の生殖と発生 発芽と成長
3	個体群と生物群集	3	個体群とその変動

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
体育	2年普通科・探究科・総合ビジネス科	2		○	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [知識・技能] ・活動を通して技術の名称や 行い方、体力の高め方を理解 し、各種目特有の技能を身に 付けている。 ・課題解決の方法、協議会の 仕方、効果的な練習方法につ いて理解しようとしている。	<b>B 評価の規準</b> [思考力・判断力・表現力 等] ・振り返りシートに毎時の 反省を記入し、自己評価を しようとしている。 ・活動の中で、自己や仲間の 動きを比較して良い点や修 正点を発見しようとしてい る。 ・仲間とともに楽しむため の活動方法やその修正の仕 方を見つけようとしている。	<b>B 評価の規準</b> [主体的に学習に取り組む態度] ・授業に主体的に参加しようと している。 ・活動の目的を理解し、実践しよう としている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑 戦を大切にしようとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動を とるなど健康・安全を確保しようと している。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、スキルテス ト、体育理論で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	ダンス 体づくり運動	8	現代的なリズムのダンス 体ほぐし運動 体の動きを高める運動 実生活に生かす運動の計画
5	体づくり運動 球技（選択①）	4 4	体の動きを高める運動 ○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール

6 7	球技（選択①）	6	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
	体育理論	6	スポーツにおける技能と体力 スポーツにおける技術と戦術 技能の上達過程と練習 効果的な動きのメカニズム 体力トレーニング 運動やスポーツでの安全の確保
8	球技（選択②）	2	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="checkbox"/> サッカー <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="checkbox"/> 卓球 <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
9	球技（選択②）	8	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="checkbox"/> サッカー <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="checkbox"/> 卓球 <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
10	球技（選択③）	8	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
11 12	陸上競技（長距離走）	10	20分間走・ペース走・ロード走

1	球技	6	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
	ダンス		現代的なリズムのダンス
2	ダンス	4	現代的なリズムのダンス 創作ダンス
3	ダンス	4	現代的なリズムのダンス 創作ダンス

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
保健	2年普通科・探究科・総合ビジネス科	1		○	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）	
------	--	--

科目の目標		
<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p>	<p>健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p>	<p>生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> ・生涯の各段階と健康との関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択、社会環境づくりが不可欠であることを理解しようとしている。 ・健康の保持増進には、個人のみではなく、個人を取り巻く自然環境や社会の制度、活動などが深くかかわっていることを理解しようとしている。	<b>B 評価の規準</b> ・健康にかかわる原則や概念をもとに情報を整理し、自他や社会の課題を発見しようとしている。 ・生涯を通じる健康や健康を支える環境づくりについて自他や社会の課題解決方法について話し合ったりスライドにまとめたりして、筋道を立てて説明しようとしている。	<b>B 評価の規準</b> ・授業に自主的に参加しようとしている。 ・役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしている。 ・話し合いやグループ活動に主体的に参加しようとしている。
※単元テスト、グループ発表の内容、スライドの作成など授業内での成果物も評価対象とします。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	ライフステージと健康	1	座学
5	思春期と健康	1	座学、グループワーク
6	性意識と性行動の選択	1	座学
	妊娠・出産と健康	1	座学
	避妊法と人工妊娠中絶	1	座学、課題学習（グループワーク）
	結婚生活と健康	1	
	中高年期と健康	1	クラス内発表
	単元テスト	1	
	7	働くことと健康	1
8	労働災害と健康	1	座学、グループ活動
9	健康的な職業生活	1	座学、グループ活動
		2	クラス内発表
9	大気汚染と健康		

10	水質汚濁、土壌汚染と健康	7	座学、課題学習（グループワーク）
11	環境と健康に関わる対策		
12	ごみの処理と上下水道の整備	1	クラス内発表、単元テスト
12	様々な保健活動や社会的対策	1	座学
	健康に関する環境づくりと社会参加	1	座学、グループ活動
1	食品の安全性	1	座学
	食品衛生にかかわる活動	2	座学、グループ活動
	単元テスト	1	
2	保健サービスとその活用	1	座学、グループ活動
3	医療サービスとその活用	1	座学
	医薬品の制度とその活用	3	課題学習（グループワーク）
		1	クラス内発表

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
英語 コミュニケーションⅡ	普通科・2年文系 探究科・2年	4			

使用教材	<input type="checkbox"/> Power On English Communication II <input type="checkbox"/> Power On English Communication II workbook <input type="checkbox"/> 英単語・熟語 Bricks 1 (いっぴな書店)
------	--

科目の目標		
英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5つの領域（聞くこと・読むこと・話すこと【やりとり】【発表】・書くこと）において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各レッスンにおける文法事項、文の形・意味・用法を理解できるようになる。基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につける。学習した用法を話し言葉において、適切な場面・状況で使う技能を身につける。	各レッスンの内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	各レッスンの内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりしようとする。 各課題について、自分のためになるように効果的に取り組む。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <p>[知識] 各レッスンにおける文法事項の文の形、意味、用法を理解している。</p> <p>[技能] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身につけている。</p>	<p>B 評価の規準</p> <p>[思考・判断・表現] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p>	<p>B 評価の規準</p> <p>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p> <p>課題については、自力で取り組み、丸つけややり直しなどを主体的に行う。また、期日を守って提出する。</p>
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	Lesson 1 Play Me, I' m Yours	6	助動詞、受け身、S+V+C
	Sounds Interesting 1	1	目立たない音節
5	Lesson 2 Ethical Fashion	6	S+V+O+C
	Zoon in with コーパス 1	1	インターネットはコーパス
6	Lesson 3 One for All, All for One	5	完了形、仮定法過去
	Sounds Interesting 2	1	目立つ音節
7	Leeson 4 Vending Machines	4	関係代名詞（主格、非制限用法）
8	Lesson 4 Vending Machines	2	関係代名詞（目的格）
9	Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue	6	助動詞+受け身、S+V+C、S+V+O、 It seems that ~
	Essay Writing 1	1	エッセイの構成要素

	Zoom in with コーパス 2	1	副詞
10	Lesson 6 New Banknotes	6	It is said that ～、形式目的語、 助動詞 + have + p. p.
	Sounds Interesting 3	1	音のつながり
11	Lesson 7 Some Secrets about Colors	6	関係代名詞 (所有格)、同格の that、 前置詞+関係代名詞、関係副詞
	Zoom in with コーパス 3	1	パターンに注目
12	Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem	6	強調、関係代名詞(, which)、to have p. p.
	Sounds Interesting 4	1	リズム
1	Lesson 9 Flying after Her Dreams	3	譲歩、no matter how(where, when)
2	Lesson 9 Flying after Her Dreams	3	仮定法過去完了、分詞構文
	Sounds Interesting 5	1	イントネーション
	Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	4	過去完了進行形、be + to-do
3	Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	2	未来完了形、提案・命令・要求
	Sounds Interesting 6	1	弱形と強形

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
英語 コミュニケーションⅡ	普通科理系・2年 総合ビジネス科・2年	3			

使用教材	<input type="checkbox"/> Power On English Communication II <input type="checkbox"/> Power On English Communication II workbook <input type="checkbox"/> 英単語・熟語 Bricks 1 (いっぴな書店)
------	--

科目の目標		
英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5つの領域（聞くこと・読むこと・話すこと【やりとり】【発表】・書くこと）において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各レッスンにおける文法事項、文の形・意味・用法を理解できるようになる。基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につける。学習した用法を話し言葉において、適切な場面・状況で使う技能を身につける。	各レッスンの内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	各レッスンの内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりしようとする。 各課題について、自分のためになるように効果的に取り組む。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <p>[知識] 各レッスンにおける文法事項の文の形、意味、用法を理解している。</p> <p>[技能] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身につけている。</p>	<p>B 評価の規準</p> <p>[思考・判断・表現] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p>	<p>B 評価の規準</p> <p>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p> <p>課題については、自力で取り組み、丸つけややり直しなどを主体的に行う。また、期日を守って提出する。</p>
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	Lesson 1 Play Me, I' m Yours	5	助動詞、受け身、S+V+C
	Sounds Interesting 1	1	目立たない音節
5	Lesson 2 Ethical Fashion	5	S+V+O+C
	Zoon in with コーパス 1	1	インターネットはコーパス
6	Lesson 3 One for All, All for One	5	完了形、仮定法過去
	Sounds Interesting 2	1	目立つ音節
7	Leeson 4 Vending Machines	5	関係代名詞（主格、非制限用法）
8	Lesson 4 Vending Machines	2	関係代名詞（目的格）
9	Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue	5	助動詞+受け身、S+V+C、S+V+O、 It seems that ~
	Essay Writing 1	1	エッセイの構成要素

	Zoom in with コーパス 2	1	副詞
10	Lesson 6 New Banknotes	5	It is said that ～、形式目的語、 助動詞 + have + p. p.
	Sounds Interesting 3	1	音のつながり
11	Lesson 7 Some Secrets about Colors	5	関係代名詞 (所有格)、同格の that、 前置詞+関係代名詞、関係副詞
	Zoom in with コーパス 3	1	パターンに注目
12	Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem	5	強調、関係代名詞(, which)、to have p. p.
	Sounds Interesting 4	1	リズム
1	Lesson 9 Flying after Her Dreams	2	譲歩、no matter how(where, when)
2	Lesson 9 Flying after Her Dreams	2	仮定法過去完了、分詞構文
	Sounds Interesting 5	1	イントネーション
	Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	2	過去完了進行形、be + to-do
3	Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	2	未来完了形、提案・命令・要求
	Sounds Interesting 6	1	弱形と強形

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
論理・表現Ⅱ	普通科・2学年	2			

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 EARTHRISE English Logic and ExpressionⅡStandard (数研出版) <input type="checkbox"/> EARTHRISE English Logic and ExpressionⅡStandard workbook (数研出版) <input type="checkbox"/> 英単語・熟語 Bricks1 (いいずな書店) <input type="checkbox"/> EARTHRISE アースライズ総合英語 (数研出版)
------	---

科目の目標		
<p>「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）のうち「話すこと」「書くこと」について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けるようにする。</p> <p>○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解する力を養う。</p>	<p>○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語での確に理解したり適切に伝え合ったりする力を養う。</p> <p>○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現することができるようにする。</p>	<p>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現することができるようにする。</p> <p>○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする力を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> <b>「外国語理解の能力」</b> ・外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。 ・外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	<b>B 評価の規準</b> <b>「外国語理解の能力」</b> ・外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。 ・外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	<b>B 評価の規準</b> <b>「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」</b> ・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	Lesson 1 How interesting Japanese Culture is!	3	さまざまな時を表す
	Lesson 2 Wonderful places to visit in Japan	2	可能・義務・必要などを表す
5	Lesson 2 Wonderful places to visit in Japan	1	可能・義務・必要などを表す
	Lesson 3 Precious water for all	3	「～される」を表す
6	Lesson 4 What has happened recently?	3	「～すること」などを表す (to do / doing)
	Lesson 5 I'm into music and movies!	1	doing / done を使って説明する
7	Lesson 5 I'm into music and movies!	2	doing / done を使って説明する
	Lesson 6 Where do you usually buy clothes?	3	人・物・時や場所などについて説明する

8	Lesson 7 What kind of books do you like best?	2	比較を表す
9	Lesson 7 What kind of books do you like best?	1	比較を表す
	Lesson 8 Inventions that changed the way we live	3	仮定を表す
10	Lesson 1 Can you come to our party?	3	感謝する／謝罪する
11	Lesson 2 I'm sure you can make it!	3	心配を述べる／励ます／感想を述べる
12	Lesson 3 How about trying this food?	3	提案する／勧誘する／好みを述べる
1	Lesson 4 Tips for staying healthy	3	助言する／忠告する
	Lesson 6 Where would you like to live in the future?	2	依頼する
2	Lesson 6 Where would you like to live in the future?	3	賛成する／反対する
3	Lesson 7 Which candidate is the right person?	3	意見を求める／意見を述べる

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
家庭基礎	総合ビジネス科・1年 普通科、探究科・2年	2		○	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍） <input type="checkbox"/> 学習ノート 熊本県版家庭科学学習ノート
------	--

科目の目標		
<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身に付ける。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会の中から問題を見だし、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察し根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [知ること・できるようになること、の意味を理解する] ・プリントの記入、スライドの制作、安全への配慮と適切な道具の扱いができ、知識や技術が定着した。 ・調べ学習やプロジェクト学習の視点が定まっており、展開が的確である。	B 評価の規準 [状況に応じ適切に判断し、自分の意見を述べる] ・学習内容に関する自分の意見を表現できる。スライドを見やすく、わかりやすく製作して発表できる。 ・班やグループで意見交換をして考えを深めたり、活動したりすることができた。	B 評価の規準 [粘り強さと向上心がある] ・授業の道具がそろっており時間どおりに授業が開始できる。 ・本時の学習内容を理解し、真剣に粘り強く取り組んでいる。 ・自らのよりよい生活がどうあるべきかを探り、今後の課題を見いだそうとしている。 ・締切日までに提出できた。
※定期考査、実技試験 ※実習・プロジェクト製作物	※定期考査 ※プレゼン内容・発表態度	※プロジェクトの記録 ※学習ファイル・実習の記録
下の項目などのように、特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。 ・社会全体または地域の課題を意識するなど、目的意識を持って学習に取り組んだ。 ・学習や実習活動が的確かつ確実であり、他を率いる存在であった。 ・自らの生活を振り返り改善できた。家族や他者への提案ができた。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション 生涯を見通す 人生をつくる	4	○人生を展望する ○目標を持って生きる ○人生をつくる
5	人生をつくる これからの生活を創造する	3	○家族家庭を見つめる ○これからの家庭生活と社会 ○生活をデザインする
6	食生活をつくる	5	○食生活の課題について考える ○食事と栄養・食品 ○調理の基礎 □食物調理技術検定3級
7	衣生活をつくる	6	○被服の役割を考える ○被服を入手する ○被服を管理する

		3	○ホームプロジェクト計画作成 □夏休み課題
8	ホームプロジェクト	2	○ホームプロジェクト発表会
9	食生活をつくる	5	○調理の基礎（2学期中） □郷土料理講習会
10	衣生活をつくる	6	○衣生活の文化と知恵 ○これからの衣生活 □被服製作実習（ポケットティッシュケース） □被服製作技術検定3級
11	子どもと共に育つ	6	○命を育む ○子どもの育つ力を知る ○子どもとかわる ○子どもとのふれあいから学ぶ ○これからの保育環境
	経済生活を営む	4	○情報の収集と意思決定 ○購入・支払いのルールと方法 ○消費者の権利と責任 ○生涯の経済生活を見通す ○これからの経済生活
12	持続可能な生活を営む	2	○持続可能な社会を目指して
	ホームプロジェクト	1	○ホームプロジェクト計画作成 □冬休み課題
1	超高齢社会を共に生きる 共に生き、共に支える	2	○ホームプロジェクト発表会
		5	○高齢者の心身の特徴 ○これからの超高齢社会 ○私たちの生活と福祉 ○社会保障の考え方 □認知症サポーター養成講座
2	住生活をつくる	4	○住生活の変遷と住居の機能 ○安全で快適な住生活の計画 ○住生活の文化と知恵 ○これからの住生活
3	学校家庭クラブ活動	2	□学校家庭クラブ活動

## 令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
情報 I	普通科・2年	2		○	

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 新編情報 I 東京書籍 <input type="checkbox"/> ワークブック 新編情報 I 資料ノート <input type="checkbox"/> PC教材 Life Is Tach Lesson <input type="checkbox"/> ベストフィット 情報 I
-------------	--

科目の目標		
<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。</p>	<p>様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p>	<p>情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
60%	20%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [理解できた・完成した] ・【まとめ】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 ・説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、 <u>適切にメモに残している。</u>	<b>B 評価の規準</b> [発展した学習によく考え、取組み、説明できた] ・【設問】や【タブレット学習】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考えを表でできている。</u> ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、 <u>仲間のサイン</u> を受けている。	<b>B 評価の規準</b> [粘り強さ] ・学習活動に真剣に取り組む、ネット副教材にじっくり取り組むことができる。 [自分なりの工夫] ・自分の到達目標を決め、予習復習、進んだ学習ができている。特にタブレット学習は、共通テストやITパスポートを目指す人は予習必須です。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション 1 情報とメディアの特性[p. 6] (や) 表現メディアの違いによるメリットとデメリット	1	・ Society5.0 から情報 I の学習目標とシラバスを理解する。 ・ 実習用コンピュータの使い方を理解する。 ・ 情報の特性から情報とは何か理解する。 ・ さまざまなメディアの特性を理解する。
	2 問題解決の流れ[p. 8]	2	・ 問題を発見・解決するための一連の流れを理解する。 ・ 問題の発見・解決に情報技術が活用できることを理解する。
	発想法[p. 10] 実 41 アイディアの大量生産[p. 118]	2	・ 問題解決の各場面で活用できる発想法を学習する。
5	4 情報モラル[p. 12] (や) 法律が社会の変化に対応できていない例 5 個人情報の流出 [p. 14] (2) 個人情報をどこまでイン	2	・ 情報モラルを理解する。・ 法規や制度および個人の責任を学習する。・ 個人情報を理解する。・ SNS を通して個人情報が流出・特定される仕組みを学習する。・ SNS 等の不適切

	<p>ターネット上に公開できるか6 傷つかない傷つけないために[p. 16] (や)セキュリティ上よいパスワード</p> <p>7 著作権[p. 18] (や)学校の授業での著作物の扱い</p>		<p>な使い方を理解する。・不正に情報が盗まれることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権について理解する。</li> <li>・引用の仕方を理解する。</li> </ul>
	<p>8 情報技術の発展[p. 20] (や)電子マネーと現金の比較</p> <p>9 情報化と私たちの生活の変化[p. 22]</p> <p>10 よりよい情報社会へ[p. 24] (4)サイバー犯罪の対策</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像処理や電子商取引などの新しい情報技術について学習する。</li> <li>・人工知能やロボットなどの情報技術と生活の変化を理解する。</li> <li>・情報化による健康への影響などの問題について学習する。</li> <li>・サイバー犯罪などの問題について学習する。</li> </ul>
6	<p>11 コミュニケーション手段の変化[p. 34] (や)スマートフォンがない時代の生活</p> <p>12 ネットコミュニケーションの特徴[p. 36] (や)直接会うことができない場合のメディアの選択</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアとコミュニケーションの変遷を学習する。</li> <li>・メディアの特性について学習する。</li> <li>・近年のソーシャルメディアによる人のつながりを理解する。</li> <li>・ネットコミュニケーションの特徴である記録性や匿名性について学習する。</li> </ul>
	<p>13 デジタル世界へ[p. 38] (や)アナログ表示とデジタル表示比較 14 数値と文字のデジタル表現[p. 40]</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルデータとは何か</li> <li>・デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。</li> <li>・2進法と情報の単位</li> <li>・文字のデジタル表現</li> </ul>
	<p>15 音と画像のデジタル表現[p. 42] 16 色と動画のデジタル表現[p. 44] 17 目的に応じたデジタル化[p. 46] (や)スマートフォン圧縮形式</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音, 画像, 動画のデジタル化。</li> <li>・デジタルでの色の原理。</li> <li>・デジタル情報の品質の違い。</li> <li>・データ圧縮</li> </ul>
7	<p>18 情報デザイン[p. 48] (や)学校 Web サイトの階層構造の調査 実 49 図解表現[p. 126]</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報デザインとは何か学習する。</li> <li>・情報デザインの方法である抽象化, 可視化, 構造化を理解する。</li> <li>・学校の Web サイトがどのような階層構造になっているか調べる。</li> <li>・情報デザインの方法を使って分かりやすい文書を作成する。</li> </ul>
	<p>19 ユニバーサルデザイン[p. 50] (や)身の回りの機器のユーザインタフェースの改善 20 情報デザインの流れ[p. 52] (や)ユーザを地域の高齢者と想定したとき, どのような分析ができるか</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインについて学習する。</li> <li>・ユーザインタフェースについて学習する。</li> <li>・情報デザインのプロセスを理解する。</li> <li>・情報デザインのプロセスを活用する方法を身につける。</li> <li>・デザイン思考に基づいた分析を理解する。</li> </ul>

	考える		
8	実 51 映像制作[p. 130]	2	・映像作品を制作する。
9	21 コンピュータとは何か [p. 62] (や) コンピュータが入っている製品 22 ソフトウェアの仕組み[p. 64] (や)プログラミング言語の種類	3	・コンピュータの基本構成について理解する。・ハードウェアとソフトウェアについて理解する。・プログラムの動作の仕組みについて学習する。
	23 演算の仕組みとコンピュータの限界[p. 66]	2	・コンピュータの演算の仕方について学習する。・コンピュータの処理のための基本的な回路について学習する。
10	24 アルゴリズムの表現[p. 68] (問題) 通学方法の判断 25 プログラムの基本構造 1[p. 70] (問題) 円と三角形の面積	3	・アルゴリズムの必要性を理解する。 ・アルゴリズムの表現方法について学習する。
	26 プログラムの基本構造 2[p. 72] (問題) 3 の倍数を判定 (問題) 偶数を表示	2	・プログラムの作り方について学習する。 ・プログラムの制御構造について学習する。
11	27 発展的なプログラム 1[p. 74] (問題) 7 で割った余りが 3 となる数の表示 実 52 気まぐれ AI[p. 132] 28 発展的なプログラム 2[p. 76] (問題) おみくじゲーム	3	・プログラムで制御構造を組み合わせる方法を学習する。 ・プログラムの配列とリストについて学習する。 ・簡易な対話プログラムを開発する。 ・プログラムでの関数の利用について学習する。
	29 モデル化とシミュレーション [p. 78] 30 シミュレーションの活用[p. 80] 実 55 シミュレーション[p. 137]	2	・モデル化の考え方と、モデルの分類について学習する。・シミュレーションによるモデルの評価について学習する。・モデル化とシミュレーションにおける注意点を学習する。・テーマを決めて、表計算ソフトウェアでシミュレーションを行う。
12	31 ネットワークとインターネット [p. 90] (や) インターネットの今後の利用 32 インターネットの仕組み [p. 92] (や) 学校のコンピュータの IP アドレス 33 サーバとクライアント	2	・情報通信ネットワーク・LAN と WAN・プロトコル, TCP/IP・ネットワーク構成ハードウェア・サーバの役割・インターネットでの IP アドレスと DNS ・認証後に使えるようになるサービスには、どのようなものがあるか調べる。

	[p. 94] (や) 認証後に使えるサービス		
	各 34 インターネット上のサービス [p. 96] (や) ネットワークが繋がらなくなったときの対応	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• WWW を理解する。</li> <li>• 電子メールについて学習する。</li> </ul>
	35 情報セキュリティ [p. 98] (や) 学校内の情報セキュリティ技術	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 情報セキュリティの機密性, 完全性, 可用性を理解する。</li> <li>• 情報セキュリティを確保するための方法・技術について学習する。</li> </ul>
1	36 データの形式 [p. 100] (や) 身近にあるデータの質的データ, 量的データおよび各尺度の判断	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• データとは何か学習する。</li> <li>• データの尺度とは何か学習する。</li> </ul>
	37 データベースの活用 [p. 102]	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• データベースの役割がどのようなものか理解する。</li> </ul>
	38 さまざまなデータモデル [p. 104] 実 59 コンビニデータベース [p. 142] (や) 関係データベースの利点	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 社会のデータベース活用例を学習する。</li> <li>• データベースで使用するデータモデルについて学習する。</li> <li>• 関係データベース分析して, 解釈する。</li> </ul>
2	39 データ分析の流れ [p. 106] (や) クロス集計表の結果の考察	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>• データ分析の流れと方法を学習する。</li> </ul>
3	40 目的に合わせたデータの利用 [p. 108] (や) 欠損値や外れ値が含まれていた場合の分析結果	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 分析の目的に合わせたデータの利用方法を学習する。</li> <li>• 適切なデータの解釈方法を学習する。</li> </ul>